

2021年度活動報告

1. 事業と組合員活動を通じてSDGsの推進に取り組みました

組合員活動

【平和活動】

◆日本生協連主催「ピースアクションinヒロシマ」は、オンライン開催となり（8/4、5）、共立社では9地域10会場を設定し、計6企画に組合員47名が参加しました。

◆平和募金の呼びかけを行い104万6100円の協力がありました。

◆「日本生協連主催」「ピースアクションinヒロシマ」は、オンライン開催となり（8/4、5）、共立社では9地域10会場を設定し、計6企画に組合員47名が参加しました。

◆平和募金の呼びかけを行い104万6100円の協力がありました。



▲酒田地域コープなかのくちで、酒田生協組合員と高校生ボランティアが募金活動の様子（12/11）

【ユニセフ活動】

◆山形県生協連主催「ユニセフやまがたのつどい」が開催され、全体で63名が参加しました。

◆下期からスタートした「東ティモール指定募金」は、各地域で工夫しながらユニセフ募金を呼びかけ、266万1905円が寄せられました。

【貧困問題】

◆フードバンク個人サポーターは最終201名279口の実績、11月からスタートしたフードバンク賛同募金では42万4374円のご協力が寄せられました。

◆宅配の仕組みを使った「フードドライブ」に4月と10月の2回取り組み、贈呈先は地域

2022年度方針

1. 多様な年代と生活スタイルの組合員が参加できる活動・運営を広げます

共通

◆広報誌やホームページ、SNSなどを活用し、生協の事業や活動を分かりやすく伝えます。

組合員活動

◆くらしに応じて活動に参加できる組合員活動を目指します。

◆インターネットを活用したオンラインでの活動を広げます。

◆空白地区を中心に新

【居場所づくり】

◆第1回居場所づくり委員会（7/16）を9会場からのリモートで開催し、各地域からの活動報告、居場所と学びの場づくり「ぶらいず」相談役松井愛氏を講師に「コロナ禍での居場所について」をテーマに学習しました。

◆山形地域の「みんなの食堂」では、11月からテイクアウト方式での開催に取り組みんでいます。

【震災・災害支援】

◆みやぎ生協・コープふくしま、宮城県漁協、宮城県生協連、福島県生協連の呼びかけに賛同し「アルプス（ALPS）処理水海洋放出に反対する署名」運動に取り組み、1256

2. 多様な年代と生活スタイルの組合員が参加できる活動に取り組みました

組合員活動

◆21年度も、新型コロナウイルス感染症予防と組合員活動の両立をはかり、新たなくま組委員会結成や委員会へのお誘いは困難な状況が続く、既存委員会の再開に重点を置きました。

◆南陽地域では、新たなくま組委員会が1つ立ち上がり、西置賜地域でも新年度からのスタートに向けて準備が進んでいます。

◆全地域でくま組委員長会議を開催し、地域課題を共有しました。

◆オンラインによる地域活動交流（1/25）を開催し、県内10地域から共立社役員・地域役員・くま組委員長計74名が参加しました。

◆「班長・組合員のつどい（おうちでつどい）」では、SDGsをテーマに、7月は「コープサステナブルシリーズ」、11月は「ユニセフ東ティモール指定募金」について学習し、一人ひとりが出来る事を考えるきっかけとなりました。

◆「くらしのたすけあい」の会の料金改訂を行いました。



▲オンラインによる地域活動交流（1/25）

たなご組委員会の結成に取り組みます。

◆地域理事会とくま組委員会が協力して、地域の組合員が元気になる活動を広げます。

◆「おしゃべりの会」や個人でも参加できる「班長・組合員のつどい」・「おうちでコープ」を開催します。

2. 行政や諸団体と連携しSDGsを推進します

共通

◆2030年までの生協の事業と活動のCO2排出量削減目標を引き上げ、2013

【地球温暖化防止】

◆「2021年8月大雨災害支援募金」に取り組み、57万9039円の募金が寄せられ、日本生協連を通じて被災地支援に役立てられました。

【地球温暖化防止】

◆第1回くらし分野委員会（9/29）では、コープでんきの供給元山形県企業局が管理する水力発電所（長井市新野川第一発電所・野川第二発電所）を見学しました。

宅配事業

◆地球温暖化防止のためのCO2排出量削減を目的として、コープでんきの普及に取り組み、938名の組合員にご利用いただきました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆日本生協連主催の「オンライン工場見学会・交流会」など、オンライン開催することに参加する組合員の幅が広がりました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆様々な媒体を使い地域の組合員活動を発信しました。二次元コード（QR）を活用して紙面とホームページを連動させたり、フェイスブックで動画を使った活動紹介も行いました。

◆機関紙「いっしょにCOOP」が、リニューアル10周年・通算100号を迎え、特別企画として「池田オスエさん原画展「四季の花と果実を描く」」を開催し（9/14、11/14）、全県で729名の来場者がありました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

3. 「食の安全」の実現のために職員と組合員の学習を進めました

共通

◆「食品の安全パンフレット」の最新版を使用し、組合員と職員双方で学習会を開催しました。

組合員活動

◆DVDやYouTube動画も活用しながらコープ商品の品質管理やゲノム編集について学習しました。

◆試食をしないデモクッキングや生協の宅配ご利用ガイドの見方、

◆生産者・組合員・職員の産地交流は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、計画の半分程度の開催となりました。交流の様子はフェイスブックで動画を紹介しています。



▲産直交流会「鈴木秀峰園（産直提携20年）」（10/7）

◆鶴岡と山形地域では、米づくり体験に取り組み、感染状況によっては中止することもありましたが、ホームページやフェイスブックも活用して田んぼの様子を伝えました。

◆南陽地域では、「ブルーベリー収穫体験」を6/7月の期間で開催し、置賜地域の組合員を中心に189名が参加しました。

◆「いもっこファーム」を開催し、種芋植え・収穫までを行いました。



▲よねざわ地域いもっこファーム

◆よねざわ地域では「いもっこファーム」を開催し、種芋植え・収穫までを行いました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

@あつとコープ学習会
お取引様によるオンライン学習会など、幅広い活動に取り組みました。



▲新庄地域おくらこ〜が委員会「魚肉ソーセージの比較」

4. こだわりの商品と、組合員が満足する商品の品揃えの充実に取り組みました

共通

◆エシカル（倫理的）消費に対応したコープ商品について、学習と宣伝を進めました。

センター事業

◆地域の行催事や食文化への細かな対応を目指しました。

◆惣菜や冷凍食品の利用をすすめるとともに簡単便利に調理できる味付け済みの加工食品やミールキットの品揃えを充実させました。

◆山形県産品や旬の商品を利用した惣菜を拡大し、コロナ禍でストップしていた酒田南高校の生徒実習のレシピを元に商品化した弁当供給を再開しました。



▲お肉屋さんの冷凍食品コーナー

宅配事業

◆宅配のチラシで「健康」をキーワードにした商品の打ち出しを強めました。

◆ミールキット（冷蔵）は新商品を30品導入し、簡便性のある商品・使い切り・小分けなど品ぞろえを充実させました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

◆「おしゃべりの会」は開催方法を変更し、一人でも申し込めできる「おうちでコープ」として開催しました。

5. 組合員の生活様式の変化に対応する事業の構築と効率的な運営を進めました

センター事業

◆老朽化した精肉加工センターと日配センターの2022年度中の建替えの準備をすすめました。

◆新桜田センターについて、2023年度のオープンに向けて準備をすすめました。

◆くらしのセンターでの「セミセルフレジ」をなかのくち・千石センターにも設置しました。



▲お支払いセミセルフレジ

◆買い物困難者支援の軽トラタイプ移動店舗「せいきょう便」を5台（千石1台・切添1台・しろし2台・ひがしはら1台）増車しました。

◆水産・精肉加工センターとくらしのセンターの加工部門で、食品製造過程の危害を管理するHACCPに沿った衛生管理を制度化しました。

6. 環境問題についての学習を進め、環境を守るための取り組みを進めました

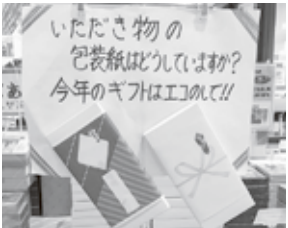
共通

◆共立社の施設や業務車輦等の21年度のCO2排出量を13年度比17%削減の目標で取り組み14.5%減となりました。

センター事業

◆マイバック持参率アップに取り組み、持参率は、平均92.8%となりました。

◆食品ロス削減を進め、消費期限や賞味期限が



▲くらしのセンターでの簡易包装の展示

宅配事業

◆宅配のチラシ配布で、衣料品や雑貨品チラシの過去利用履歴に基づく配布方式を導入したこと、紙資源の節約につながっています。

◆取引先と共にトレーや包装材の削減・縮小の検討を行いました。

5. 生活様式の変化に対応する事業を進めます

共通

◆「積み立て増資」への参加を進める取り組みを継続します。

センター事業

◆利用状況や社会情勢の変化も考慮しながら、営業日・営業時間の短縮を実施します。



宅配事業

◆組合員が商品を受け取りに来る宅配の「わけあいステーション」をこびあコープ酒田に設置しました。

◆8月1週から一部のチラシで個々の組合員の利用履歴にあわせた「個人別配布」を段階的に開始しました。

◆weekのインフォメーションコーナーで持続可能な原料を使用した「コープサステナブル」シリーズのご案内などエシカル消費につながる取り組みを実施しました。

サービス事業

コープ共済

◆コープ共済の新商品「学生総合共済」と《たすけあい》ジュニア20コースの満期年齢を30歳まで延長した改定商品の募集を始めました。

◆「こ〜ぶ協同の苑三川・山形」を周知するため、様々な広報媒体を使ってお知らせしました。

【配食事業】

◆配食事業を知ってもらうように、組合員の説明会や、福祉事業関係への訪問を行いました。

◆近い商品や旧品となった商品の利用を組合員に呼びかけました。

◆省資源になる簡易包装をおすすめしました。

宅配事業

◆宅配のチラシ配布で、衣料品や雑貨品チラシの過去利用履歴に基づく配布方式を導入したこと、紙資源の節約につながっています。

◆取引先と共にトレーや包装材の削減・縮小の検討を行いました。

宅配事業

◆商品の受け取り場所としての「わけあいステーション」を広げ、生協以外の施設への設置も検討します。

◆新たに山形南支部（仮称）を建設し、業務の効率化を図るための準備をすすめます。